

もってきたらいいと思います。

T₆₁ うん。今、とも子ちゃんいったね。中沢さんは、どんなふう考えた？

C₃₆ わたしは、始めに、三小のようすを知らせますっていうところにまとめたいと思います。

T₆₂ はじめに、三小のようすを知らせますって書いてあるから、この⑦番の段落は、これはあの、こっちでなくて、もっと前に入れてもよいのではないか。ね。だから、これだけ見ると特に直すところはないんだけど、順序からいうとね。あったでしょう。ほら、順序よくなっていうことね。こういうことから考えると、なおした方がいいね。

T₆₃ それでは、こちらはどうぞ？ (T・P)

C₀ ー。

T₆₄ これは、教科書でいうと、何？

C₃₇ 終わりのあいさつ。

T₆₅ 終わりのあいさつね。終りのあいさつとそれから？

C₃₈ 日付

T₆₆ これでもう終わりですから、あとありませんから、日付のこともはいつているわけなんですよ、ね。はい、みきお君。

C₃₉ はい。何月、何日とか、あれ、書いてありません。

T₆₇ あ、日付がぬけているということ、ね。はい遠藤君。

C₄₀ さようならっていうところを、いうところのわきを書く。

T₆₈ あ、行をかえるっていうこと。教科書を見てごらん。

C₄₁ あ、かわってる。かわってる。行かわってる。

T₆₉ 場所とか、日付を書く場所とか、そんなことを直したらいいっていうことだろうと思います。

C₄₂ はい。

T₇₀ はい。江川君

なく、順序の移動をしなければならない困難さがある。C₃₅は、すこしはっきりしない発言であるが言わんとするところは、「文」を動かしてまとめた方がよいと気づいていることを示している。C₃₆は、そのことを明確に言っている。この文章の作者である。

T₆₂で、OHPを使用して、ていねいに説明しているのは、この例がむずかしいということへの配慮であろう。ただここの指導については、研究会で、「私はこちらのことを知らせ、それに関係ある相手のこときく、また知らせ、またきくように書いている。だから、このようにまとめなくてもよいのでは。」という考えもあった。しかし、事柄ごとにまとめるというねらいからみてどうであろうか。

⑧の部分

⑧ では、からだに気をつけてください。さようなら
大沼さんへ
〇〇より

ここは、終わりのあいさつの部分を取り上げ、手紙の書式を一応整えることをねらっているところである。このような、形式的なことは、すぐ気がついている。教科書とくらべて、日付けがないこと、「さようなら」、「日付け」などを書く位置が違っていることなど、自分から発言している。C₄₃もそうである。

このあたり、子どもたちがのびのびと話しているのが目立つ。